

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	4年度
事業名	水道施設耐震化事業	担当課	上下水道課
事業内容(簡潔に)	水道管を耐震性を有する管材へ更新する		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	安心・安全に生活できる地域体制の構築／心地よい定住環境のあるまちづくり	
	政策	防災体制の強化／快適に暮らすための生活環境の充実	
	施策	耐震化の促進／上下水道の整備	
関連する個別計画等	地域水道ビジョン	根拠条例等	水道法

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	東日本大震災以降、全国各地で大規模な災害が起きている状況の中で、災害時にライフラインの断絶を防ぐため、耐震性を有する管材、設備等への更新が必要となっている。
事業の手段	水源から浄水場、配水池を結ぶ管路及び、配水池から災害拠点の施設、病院、避難所までの管路を基幹管路と位置づけ、災害時にライフラインの断絶を防ぐために耐震性を有する管材・設備等に変更する。 また、浄水場、受配水池等の中で、災害時に拠点となる施設の機能を損なわないような対策をとる。
事業の対象	浄水場、受配水池、配水池及び主要な管路

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	323,346	219,762	252,487
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)	208,200	124,300	129,000
	一般財源	115,146	95,462	123,487
B	担当職員数(職員E) (人)	2	2	2
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	13,430	13,150	13,164
D	総事業費(A+C) (千円)	336,776	232,912	265,651
主な事業費用の説明	R1 水道管布設(径50~150mm)L=4,594m 施設耐震化:1箇所 R2 水道管布設(径50~150mm)L=3,403m R3 水道管布設(径50~200mm)L=3,260m			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1 耐震化整備延長	年間耐震化延長(m)	4,594	3,833	4,235
	2 基幹管路耐震化延長	基幹管路耐震化延長累計(m)	48,140	49,106	52,185
	3 管路耐震化延長	管路耐震化全延長累計(m)	111,900	115,397	121,835
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	年間耐震化延長は、減少傾向にあるものの、着実に整備を進めている。			
	2	基幹管路の耐震化延長は微増ではあるが、予定どおり進んでいる。			
	3	全管路の耐震化延長も、微増ではあるが、予定どおり進んでいる。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	基幹管路耐震化延長/ 基幹管路全延長 (%)	48,140/75,023 64.17	49,106/75,022 65.46	52,185/76,815 67.94
	2	全管路耐震化率	111,900/319,185 35.06	115,397/319,302 36.14	121,835/322,566 37.77
	3	有収率	3,093千/4,871千 63.50	3,155千/4,847千 65.09	3,162千/4,845千 65.26
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	基幹管路のルートの見直しをしながら、基幹管路の耐震化は順調に進んでいると考えられる。			
	2	継続的な漏水調査により、漏水の多い箇所を中心に配水管の整備を行っており、予定どおり進んでいる。			
	3	管路耐震化率の増加に伴い、微増ではあるが有収率向上に繋がっている。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)				
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どのような形で具体化するのか)				
	令和4年度の改善計画 (今後の事業展開説明) 今までどおりコスト縮減を図っていくとともに、基幹管路を中心に実使用年数や漏水状況を考慮して優先順位の高いものから計画的な更新を行い、耐震化率向上に努めます。 また、配水池等についても、鳥の小池配水池が築造後40年以上経過し耐震性の低いことと、上ノ山穂坂工業団地への安定的な水の供給を図るため、本年度より2ヶ年計画で整備を実施します。 今後も耐震性の低い施設などから、計画的に整備を進めてまいります。				
改善の経過	他公共事業実施 (道路整備、下水道整備) に併せて管路を布設し、コスト縮減を図った。				
直近の評価結果	内部評価	2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
	評価時の改善案	今までどおりコスト縮減を図っていくとともに、基幹管路を中心に事業を進めていく。 また、甘利第3配水池と同様に耐震性の低い他施設についても、今後、予算の状況を見ながら整備を行う。			
	外部評価	対象外	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
	評価時の対応	対象外			
課長所見	大規模地震等に備えた基幹管路の耐震化は重要であるため今後も計画的に進める必要がある。				